

平成22年度 お茶の水女子大学経営協議会（第3回）議事録

日 時：平成22年10月18日（月）15：00～16：55
場 所：お茶の水女子大学 大学本館2階 第一会議室（213室）
出席者：（学外委員）足立委員、池田委員、槍田委員、小倉委員、小野委員、
北村委員、國井委員
（学内委員）羽入学長、戒能理事、耳塚理事、河村理事、江澤理事、
近藤副学長、吉田副学長
（その他）桐村監事、山田監事、香西財務室長、大塚総合評価室長、
内藤学生支援室長

1. 開会

2. 前回〔平成22年6月8日（火）〕議事録（案）の確認

○修正等がある場合は、本日から一週間位までの間に、総務チームまで連絡することとした。

3. 審議事項

（1）平成22年度学内補正予算（案）について

○総務機構長より、平成22年度学内補正予算案について【資料3】に基づく説明、併せて学長より、同年度の学長裁量経費使用内訳について【参考】資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

（2）平成22年度資金運用計画（案）について

○総務機構長より、当面（平成22年12月～平成23年11月）の資金運用計画について、【資料4】に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

4. 報告事項

（1）平成23年度概算要求の経過について

○総務機構長より、平成23年度概算要求の経過について、【資料5】に基づき報告があった。

（2）平成21事業年度に係る業務の実績に関する国立大学法人評価委員会のヒアリングについて

○総務機構長より、平成21事業年度及び第一期中期目標・中期計画期間6年（平成16～21年度）についての取組状況に係る国立大学法人評価委員会のヒアリングが8月19日（木）に実施されたこと、9項目の質問があったこと、後日、評価結果が通知されることの報告があった。

(3) 平成 21 年度財務分析について

○総務機構長より、平成 21 年度財務分析結果について、【資料 6】に基づき報告があった。

(4) 寄附事業推進会議の設置について【資料 7】

○学術・情報機構長より、寄附事業推進会議の設置について、【資料 7】に基づき報告があった。

(5) 男女共同参画推進本部の設置について

○学術・情報機構長より、男女共同参画推進本部の設置について、検討していることの報告があった。

(6) 在学生および卒業・修了生に対するキャリア支援について

○教育機構長より、在学生および卒業・修了生に対するキャリア支援について、【資料 8】に基づき報告があった。

(7) 競争的資金等の受入状況について

○国際・研究機構長より、平成 22 年度競争的資金等の受入状況について、【資料 9】に基づき報告があった。

(8) その他

○学術・情報機構長より、新・お茶大グッズを販売すること、売り上げの一部を N G O 団体（ルーム・トゥ・リード）を通じ、途上国の女子教育に資するために寄付することの報告があった。

○学長より、最近の本学の主な活動について、【資料 10】に基づき報告があった。

○学長より、社団法人国立大学協会が実施する「国立大学フェスタ 2010」について、報告があった。

■学外委員からの主な意見は以下のとおり。

- ・リスクに対する責任のあり方を明確にしたうえで、資金は運用すべきである。
- ・外部の意見を聞いて、資金を運用すべきであり、計画の段階から既存の資金運用委員会に外部委員を参画させるべきである。
- ・欧米のような寄附文化が定着するよう、努力すべきである。

- ・欧米では企業の寄附金による冠講座が多くあるが、日本ではあまり進んでいないので、受け皿である大学から企業に対し積極的にアプローチをしていただきたい。
- ・大学が学生、保護者、企業とのつながりを作ることによって、冠講座に発展することが考えられる。
- ・就職問題は、産学だけで取り組むのではなく、産官学で検討すべき段階に来ている。
- ・就職活動が長期化しているため、学生は授業を欠席しなければならず、大学教育が空洞化する。これは学生にも企業にも損失であり、強制力のある法規制が必要である。国大協が働きかけていくべきである。
- ・就職問題は、企業側の環境整備も必要であるが、学生は大学でしっかり勉強していただきたい。
- ・企業では工学部出身のエンジニアの基礎を求めているので、大学の人材育成に期待したい。
- ・企業は積極的でポジティブなリーダーシップを持った人を求めているので、消極的な人は落ちている。世の中に機敏に反応できる人材育成が求められている。
- ・教員の熱意や、教育に対する誠意によって、企業とのパイプを作ることに多くの大学では取り組んでいるので、参考にしていきたい。
- ・リーダーシップ養成が、企業や学生のニーズと合っているのかを検証していただきたい。
- ・未永く卒業生に対し、就職の面倒をみること等、生涯にわたる支援は魅力的なことである。

○学長より、次回以降の開催予定について、【資料 11】に基づき説明があり、次回開催は、平成 23 年 1 月 24 日（月）15 時からであることを確認した。

以 上